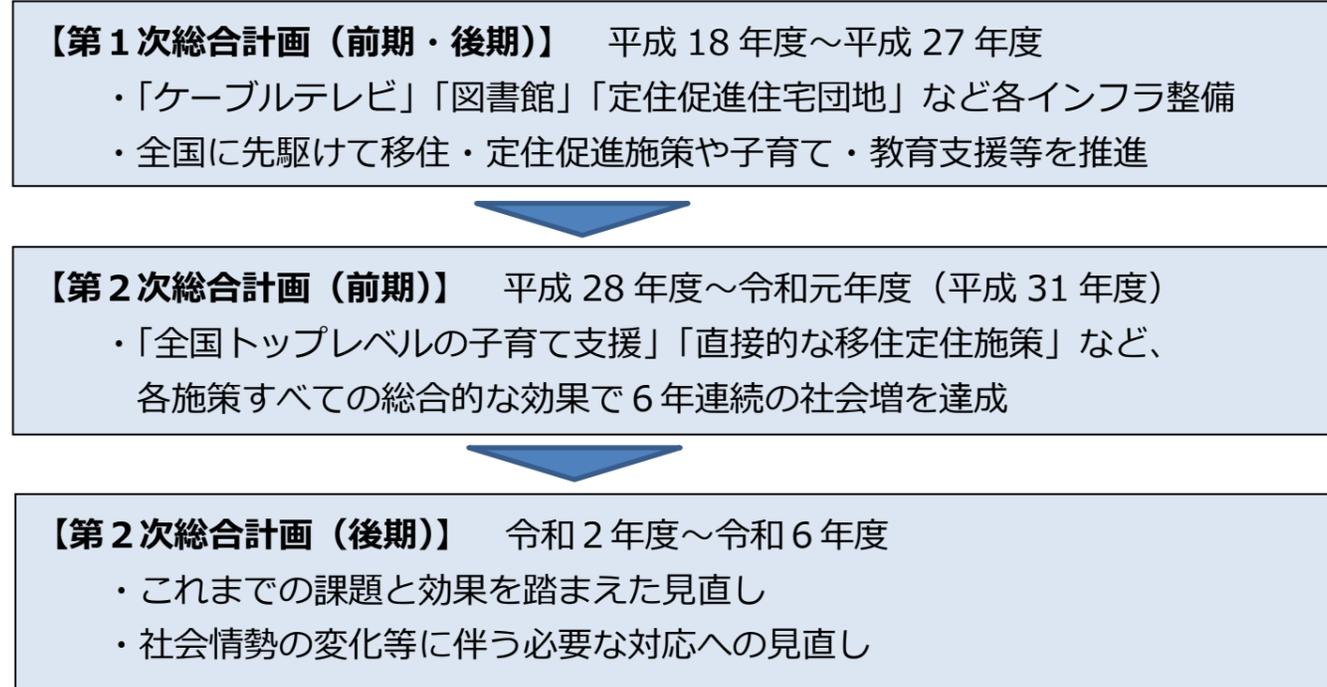


第2次豊後高田市総合計画の改訂 及び 第2期豊後高田市人口ビジョン・第2期豊後高田市総合戦略「まち・ひと・しごと」活力創生プラン」の策定

■ 第2次豊後高田市総合計画の改訂の主旨

➢ 総合計画は、市が目指す将来像を描いた長期的なまちづくり全体の計画です。



改訂ポイント①：総合計画と創生プランの一体化

- ・ 2つの計画の**計画期間を合わせます。**
- ・ 創生プラン（総合戦略）の次期計画策定に合わせて、総合計画の見直しを1年前倒し一体的に策定します。

元号	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
西暦	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
<b>【現行】総合計画</b> 10年間 2016年度～2025年度	前期【5年】					後期【5年】					
<b>【改定後】総合計画</b> 9年間 2016年度～2024年度	前期【4年】				後期【5年】						
2つの計画を同時に改定											
創生プラン	※10月～ 第1期計画					第2期計画					
計画の期間が同じになる											

改訂ポイント②：計画の構成の変更

総合計画	基本構想	・市の目指すまちの姿を実現するための基本的な施策の大綱を示すもの
	基本計画	・基本構想を実現するために必要な各施策を体系的に明らかにしたもの
人口ビジョン	・人口動向・将来人口推計の分析をし、人口の将来展望を示すもの	
創生プラン (地方版総合戦略)	・人口ビジョンに掲げた人口維持の目標を実現するための各施策・事業【人口増対策に特化した計画】 ・国の地方創生交付金を活用するためにも必要	

【これまでの計画】  
(3つの冊子)



【これからの総合計画】  
(1つの冊子)



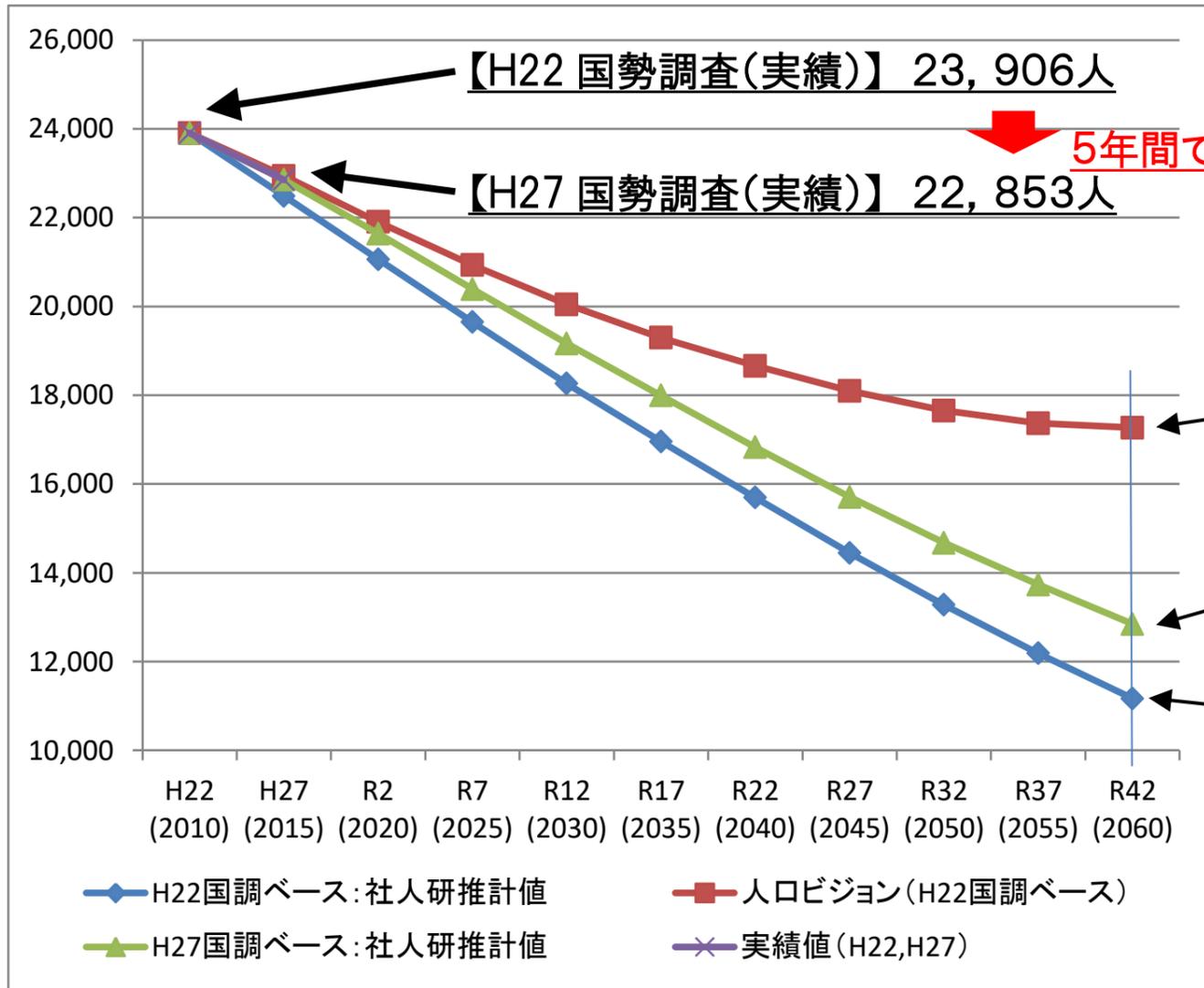
1つの計画にします。

### 改訂ポイント③：本市の人口の状況分析（総人口）

- ・平成 27 年本市人口ビジョンでの目標値【2060 年に 17,266 人維持を目標】
- ・平成 22 年 国勢調査に基づく推計値【2060 年に 11,167 人になる】
- ・平成 27 年 国勢調査に基づく推計値【2060 年に 12,845 人になる】

○国（社人研）の将来推計では、本市の人口減少は回復している。

- ・ H27 年国勢調査での実績：人口は 22,853 人  
【国が推計した H27 時点の人口：22,485 人】実績が推計を 368 人上回る
- ・ 国（社人研）の推計更新【本市の推計値は、1,678 人改善される】  
H22 国勢調査に基づく推計では、2060 年に 11,167 人になる  
→H27 国勢調査に基づく推計では、2060 年に 12,845 人になる



5年間で  $\Delta 1,053$  人減少

2060年  
【目標】 17,266人

※国勢調査の実績が、  
国の推計値を上回った結果

【H27 国勢調査に基づく推計】 12,845人

【H22 国勢調査に基づく推計】 11,167人

国の推計値が  
1,678人  
改善された

#### 【補足説明】

- ・ 過疎地の小さな市で、国（社人研）の推計が、  
前回より上向きに改善しているのは、珍しい。  
【県内で上向きに改善した市町村：  
大分市、別府市、中津市、由布市、豊後高田市】
- ・ 大分県の人口動態（H29.10～H30.9）  
県内で社会増は、中津市、由布市、豊後高田市の3市のみ。

※国の推計＝社人研推計

■社人研とは

国立社会保障・人口問題研究所の通称名です。同研究所は厚生労働省に所属する国立の研究機関であり、人口や世帯の動向を捉えるとともに、内外の社会保障政策や制度についての研究を行っている。その人口動向データは日本の重要な政策の基礎的な資料として活用されているものである。

## 改訂ポイント③：本市の人口の状況分析（3つの推計根拠）

・本市の人口目標は、下記の3つの項目を根拠に推計しています。

**【3つの推計根拠】** 将来目標人口設定の根拠（H27.10 策定「第1期人口ビジョン」より抜粋）  
（2060年に17,266人維持を目標）

	豊後高田市の推計根拠	国（社人研）の推計根拠
①平均寿命 （生残率 <sup>1</sup> ）	<p><b>【平均寿命を県下最高水準に改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成12（2000）年から平成17（2005）年の大分県生命表のうち、県内でもっとも長い平均寿命の生残率を採用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17（2005）年から平成22（2010）年の国勢調査に基づく生命表から算定された豊後高田市の値</li> </ul>
②出生率	<p><b>【合計特殊出生率を2030年に2.0、2040年以降に2.3に改善（県と同じ）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大分県人口ビジョンにおける将来人口推計の水準<sup>2</sup>を採用する</li> <li>2030年：2.0（県民希望出生率） 2040年：2.3（2.07+0.2 国と県の出生率の差）</li> </ul> <p>※結婚や出産については、個人の考え方や価値観が尊重されることが大前提であり、この目標は個人に対するものではなく、社会全体での達成を目指すものです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25（2013）年（過去5年平均）の豊後高田市の出生率である1.48を基準に将来の出生率を設定している</li> </ul>
③社会移動 （純移動率 <sup>3</sup> ）	<p><b>【20～40代のゆるやかな流入増】</b> <b>（改善率は5年で1.1ポイントと設定）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊後高田市の住民基本台帳データから平成22（2010）年～平成27（2015）年間の転出・転入の水準を把握。純移動率を試算し、その値を採用</li> <li>20～40代の世代の流出入の水準が、政策効果や民間努力等により今後徐々に改善していくことを想定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17（2005）年から平成22（2010）年の国勢調査に基づき転出・転入の水準を試算したもの</li> </ul>



## 【3つの推計根拠の現状（現在の推移）】

①平均寿命（生残率）…【目標】平均寿命を県下最高水準に改善

（単位：歳）

寿命（年齢）	性別	H20-H24 平均	H21-H25 平均	H22-H26 平均	H23-H27 平均	H24-H28 平均	H25-H29 平均
豊後高田市	男性	78.77	79.02	79.11	80.00	80.23	79.77
	女性	85.67	86.40	86.15	86.82	86.54	86.25
県トップ	男性	大分80.54	姫島81.25	姫島81.47	姫島83.47	姫島82.85	姫島84.20
	女性	玖珠87.00	九重87.27	九重88.26	九重88.69	姫島88.76	姫島89.29

H20-24【差】 男性 1.67歳 → H25-29【差】 男性 1.54歳  
女性 3.49歳 【平均寿命と健康寿命の差：縮小】 女性 2.87歳

### 健康寿命（大分県のお達者年齢）

寿命（年齢）	性別	H20-H24 平均	H21-H25 平均	H22-H26 平均	H23-H27 平均	H24-H28 平均	H25-H29 平均
豊後高田市	男性	77.10	77.42	77.54	78.51	78.84	78.23
	女性	82.18	83.16	83.14	83.69	83.57	83.38

※大分県のお達者年齢は、要介護2以上の認定を受けていない方を健康とみなして算出

※現状：徐々に改善しており、健康寿命との差は、着実に縮小

②出生率…【目標】大分県目標値に改善（2030年2.0、2040年以降2.3）

西暦（年）	2010年 実績	2015年 実績	2018年 実績	2019年 実績	2030年 目標	2040年 目標
合計特殊出生率	1.48 (2009-2013)	1.55 (2011-2015)	1.8 (2013-2017)	1.62 (2014-2018)	2.0	2.3

※現状：上昇傾向であるが、直近は若干低下

③社会移動（社会増減）…【目標】20～40代のゆるやかな流入増

	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31(R1) (2019)	
20～49歳	人口	6,813	6,782	6,710	6,721	6,636
	社会増減数	-32	-46	4	55	83
	移動率	-0.47%	-0.68%	0.06%	0.82%	1.25%
	H27との差		-0.21%	0.53%	1.29%	1.72%

※人口は1月1日時点、社会増減数は1月～12月の年間数。

※現状：現時点で目標（1.1ポイント改善）を上回っている

（H27：-0.47% → H31(R1)：1.25% ⇒ 1.72ポイント改善）

	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31(R1) (2019)	
全体	人口	23,555	23,342	23,144	22,970	22,809
	社会増減数	1	30	43	114	91
	移動率	0.00%	0.13%	0.18%	0.49%	0.40%
	H27との差		0.12%	0.18%	0.49%	0.40%

※人口は1月1日時点、社会増減数は1月～12月の年間数。

<sup>1</sup> 生残率：ある年齢（x歳）の人口が、5年後の年齢（x+5歳）になるまで生き残る確率

<sup>2</sup> 国の長期ビジョンでは、「2030年に国民希望出生率の1.8に、2040年に人口置換水準の2.07」に出生率が改善することを想定している。これに対し大分県人口ビジョンでは、「2030年に県民希望出生率の2.0」をめざしている。さらに、2030年時点での国と県の出生率の差（およそ0.2）から2040年の出生率を2.3（2.07+0.2程度）としている。

<sup>3</sup> 純移動率：ある地域人口に対する他地域間との転入超過数の割合

## 改訂ポイント③：本市の人口の状況分析（年齢区分ごと）

- ・人口ビジョン（目標）と国勢調査（実績）を比較（H30.10.1時点）

総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
人口ビジョン【H30目標】	1,536	1,736	1,617	1,952	2,468	2,589	3,624	6,797	22,318
国勢調査ベース【H30実績】	1,544	1,809	1,480	2,032	2,523	2,539	3,745	6,482	22,154
差分(H30実績-目標)	8	73	-137	80	55	-50	121	-315	-164

### 【結果】

- 目標を超えている年代  
0歳～19歳、30歳～49歳、60歳～69歳  
→ 全国トップレベルの子育て支援、直接的な移住定住施策をはじめとした、市全体の各分野各施策すべての総合的な効果で社会増を達成していると考えられる。
- 目標を超えていない年代  
20歳～29歳、50歳～59歳、70歳以上  
→ 20代の減は、高校卒業後の転出が主な要因と考えられる。  
→ 高齢層については、平均寿命の改善が必要と考えられるが、平均寿命と健康寿命の差を縮小させる視点が重要

### 【課題】（3つの推計根拠の視点で分析。）

- 【出生率】部分（人口ビジョン目標設定：2030年に2.0、2040年以降に2.3に改善）  
※現状：上昇傾向
  - 子育て支援施策の継続とさらなる充実
    - ・結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援のさらなる充実による出生率の改善が必要
- 【社会移動】部分（人口ビジョン目標設定：20～40代のゆるやかな流入増）  
※現状：現時点で目標を上回っている
  - 移住・定住施策の継続とさらなる充実、新たな観光振興による交流人口の増
    - ・移住・定住促進策のさらなる推進による継続的な移住・定住者(Uターン)の取り込みが必要
    - ・新たな観光振興による交流人口増から二次的な社会増の取り込みが必要
- 【平均寿命】部分（人口ビジョン目標設定：平均寿命が県下最高水準に改善）  
※現状：徐々に改善しており、健康寿命との差は縮小している。
  - 健康寿命延伸の取組み 大強化
    - ・平均寿命と健康寿命の差を縮小させるとの視点で、健康寿命の延伸に向けて、運動や健康な食事、介護予防、地域での生きがいづくりなどに一層取り組むことが求められる。

## 改訂ポイント④：社会情勢や新たな時代の変化に対応

### ☆ 前期計画の補強

#### (1) 人口増施策の増強の視点

子育て支援の充実、教育環境の充実、移住・定住施策の充実について

#### (2) 健康寿命の延伸の強化の視点

健康寿命の延伸に向けた取組みの強化について

#### (3) 新たな観光振興の視点

市全体を一大観光拠点とするべく、観光振興策の拡充について

#### (4) 防災の強化の視点

多発する自然災害の脅威に対する備えの強化について

### ☆ 前期計画から変化の生じた地域の事情

#### (5) 増加する外国人との共生社会の実現

本市においても人口の 2.7%を占める、611 人（令和元年 12 月末現在、住民基本台帳）が居住しているため、共生社会の実現に向けた環境づくりの視点

### ☆ 国・県の方針に沿った施策

#### (6) コンパクト プラス ネットワークの視点

将来にわたり持続可能な都市経営をしていくために、社会インフラや医療・福祉・商業等の生活機能を維持し、その拠点同士を公共交通等でつなぐ、まちづくりの視点

#### (7) 関係人口の拡大の強化の視点

本市にゆかりを持つ人や協力企業などの関係人口の拡大を図っていくための取組み強化の視点

#### (8) SDGs（エスディーゼイズ）の達成への寄与

2015 年 9 月の国連サミットで採択された 2016 年から 2030 年までの持続可能な世界を実現するための国際目標。その目標と各事業の関連性の整理

#### (9) Society 5.0（ソサエティ 5.0）の推進

Society5.0（ソサエティ 5.0）で実現する社会は、新しい情報技術を活用して、人工知能（AI）を搭載したロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化や過疎化などの課題が克服されると言われています。

本市でも、常に最新情報を把握しながら、積極的に導入していくことを検討する視点

まちの将来像

千年のロマンと自然が奏でる交流と文化のまち

・追加・変更は、赤字  
・補強は、青字

まちづくりの基本目標

誰もが安全・安心・快適に暮らせるまちをつくります

- (1) 人と人の絆で結ぶ心通う地域づくり
  - ・ 自治会・集落の機能維持と活性化支援
  - ・ 誰もが自分らしくいきいきと活躍できる基盤づくり
  - ・ 人権が尊重され多様な価値観と生き方を認め合う「共生社会」の実現
- (2) 命と暮らしを守るネットワークの構築
  - ・ 防災力・消防力の向上
  - ・ 安全・安心な生活環境の確保
  - ・ 地域情報化の推進
  - ・ 社会インフラの整備・充実
- (3) 人と自然の共生
  - ・ 自然環境の保全と環境づくり
  - ・ 生活環境の保全
  - ・ 資源・エネルギーの保全、有効利用
  - ・ 環境教育・連携の推進
- (4) 行政機能の充実
  - ・ 市民視点の行政体制の構築
  - ・ 人材の育成
  - ・ 様々な媒体を活用した積極的な広報の推進
  - ・ 広域連携と交流の推進

地域を支える人を育み、人にやさしいまちをつくります

- (1) 子どもを産み育てやすい環境づくり
  - ・ 次代を担う子どもを社会全体で育む環境の整備
  - ・ 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進
- (2) 夢を描き実現できる“ぶんごたかだっ子”の育成
  - ・ 知・徳・体を総合的に育む学校教育の推進
  - ・ Society5.0 (ソサエティ 5.0) の社会を生き抜く力の育成
  - ・ 地域力を活かした安心安全な学校づくりの推進
  - ・ 「協育」ネットワークを活用した学び合いの推進
- (3) 市民総ぐるみの健康なまちづくりの推進
  - ・ 健康な状態での取り組み
  - ・ 心身が少し衰えた状態での取り組み
  - ・ 要介護状態での取り組み
  - ・ 社会インフラの整備と利用促進等の推進
  - ・ スポーツの振興
- (4) 生涯学習の推進
  - ・ 図書館の充実と活用
  - ・ 生涯学習の推進体制の整備
  - ・ 人権教育の充実
- (5) 文化遺産の継承と芸術文化活動の推進
  - ・ 文化財・伝統文化の継承
  - ・ 芸術文化活動の推進

将来(あす)につながる、活力あふれるまちをつくります

- (1) 商工業の振興
  - ・ 地域の特性を活かした商業の振興
  - ・ 戦略的・効果的な企業誘致の促進による工業の振興
- (2) 農林水産業の振興
  - ・ 生産力の強化
  - ・ 地域ブランド力の向上
  - ・ 6次産業化の推進
  - ・ 循環型システムの確立による環境保全型林業の振興
  - ・ 地域特性を活かした水産業の振興
- (3) 新たな就業・雇用の場の創出
  - ・ 多様な働く場の創出と支援
  - ・ 重層的な就職支援
  - ・ 農林水産業の担い手の育成と確保

人に愛され、人を魅了する個性豊かなまちをつくります

- (1) 移住・定住の促進
  - ・ 戦略的なPRの推進
  - ・ 支援体制の整備と充実
  - ・ 住環境整備の推進
- (2) 心いやす郷づくり
  - ・ 移住者が夢を持って暮らせる心豊かな「心いやす郷づくり」の推進
- (3) 観光・ツーリズムの振興
  - ・ 海外誘客と国内誘客の推進
  - ・ 地域特性を活かした観光振興
  - ・ 文化財などを活用した新たな魅力づくりの推進

## 豊後高田市 まち・ひと・しごと 「活力」創生プラン 人口減少対策と地方創生のための重点戦略プラン

「地域の活力は人である」との考えを市政推進の基本に据え、このまちに確かな未来を創るために、1期創生プランの効果検証を踏まえ、国や大分県の基本方針との整合も取りつつ、1期で得られた効果のさらなる拡大、解決すべき課題への着実な対策、社会動向に応じた対応を総合的及び横断的に展開し、重点戦略プロジェクトとして推進します。

# 大目標 このまちに確かな未来を～地域の活力は『人』～

### I ひとを育み活力創生

#### 取組みの方針

全国トップレベルの子育て支援を継続し、ライフステージに応じた結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行います。  
さらに、市の未来を担う子どもの教育をさらに充実します。

#### 目指す目標

- ①より多くの人の子育ての希望が叶えられる
- ②児童生徒が知・徳・体を育み、Society5.0(ソサエティー5.0)社会に対応する力を身に付ける

#### 数値目標

- ①合計特殊出生率  
1.83 (2025年)  
(2020-2024年の平均)
- ②教育関連事業の目標値  
児童生徒の学力 外6指標  
(2024年度)

### II ひとを大事に活力創生

#### 取組みの方針

いつまでも健康で長生きしましょう！を合言葉に、健康なまちづくりを市民総ぐるみで強力に推進します。

#### 目指す目標

より多くの人々の健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)が延伸する。

#### 数値目標

健康寿命(お達者年齢)  
男性 79.67歳  
女性 84.38歳  
(2024年)  
(2019-2023年の平均)

### III ひとを呼び込み活力創生

#### 取組みの方針

様々なニーズに対応したきめ細やかな移住支援、魅力的な住環境整備等を推進します。  
そして、市全体の振興に資する新たな観光振興策を推進し、都市圏等や海外からの人の流れをさらに促進します。

#### 目指す目標

- ①転入者が転出者を上回る
- ②観光客数が増加する

#### 数値目標

- ①移住施策を活用した転入者数  
1,150人  
(2020年度～2024年度5年間の累計)
- ②観光入込客数  
1,400千人 (2024年)

### IV 仕事をつくり活力創生

#### 取組みの方針

企業誘致(増設を含む)を積極的に推進します。  
そして、商工業、農林水産業の振興を図り、ふるさと納税も積極的に推進します。  
さらに、女性や高齢者など多様な人材が活躍できる就労支援を行います。

#### 目指す目標

市内における雇用の維持と創出が図られる。

#### 数値目標

- ①企業誘致件数(増設を含む)  
3件(2020年度～2024年度5年間の累計)
- ②雇用創出者数  
2,150人  
(2020年度～2024年度5年間の累計)

### V 基盤を整え活力創生

#### 取組みの方針

道路、公共交通、上下水道などインフラ整備の長寿命化とあわせて、災害に強い、安全・安心のための基盤を整えます。  
そして、地域で支えあい、地域の主体的な取り組みを積極的に支援します。

#### 目指す目標

安全・安心に暮らせ、支えあい、交流できる地域づくりが市民とともに進められる。

#### 数値目標

本目標はI～IVを実現する基盤づくりにあることから、本目標の達成はI～IVの数値目標の達成に含まれるものとし、定量的な数値目標は設定しない。